

ルビタキ

本部より

\* 7月から活動再開になりました。やっぱりみんなと会えるのが一番良いなあ。などと話されている声を聞くと当たり前のように早くも切に願わずにはいられません。毎日感染者の数が上がる日々。また自粛生活に入るのでと不安になります。九月から訪問活動が再開するように願っていましたが年内はどうぞ無理そうです。残念ですね。でもこんな時だから基礎練習をしっかりと致しましょう。通信は訪問活動が始まるまでお休みにいたします。宜しくお願い致します。

自粛生活 その2



自粛生活で思う事



(たんぽぽ琴 加藤喜久子)

三月頃から、新型コロナウイルスの拡大により四月に非常事態宣言がでてステイホームが余儀なくされました。まさかこんなに長引くとは、思ってもない事でした。

カレンダーに記入されていた予定がどんどん消されていきました。

散歩するにも、人があまり歩いてない時間帯や脇道を選んで、何か悪い事でもしたかのような生活を過ごす毎日です。

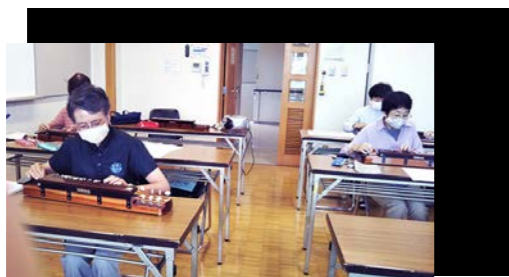
でも、せっかく家に居る時間が出来たのだからと、この期間を有効活用しなくてはと、家の片付け、マスク作り、そして琴の楽譜整理をし始めました。すると、習った曲をすっかり忘れていて、15周年、20周年と無我夢中で練習していた事を思い出し最近はその曲を練習しています。

でも一人で練習していても長続きしません。やはり仲間とするから頑張れるのだとつくづく思っています。そのメンバーとは、たまに連絡し、おしゃべりしてお互いに元気な事を確かめ合っています。

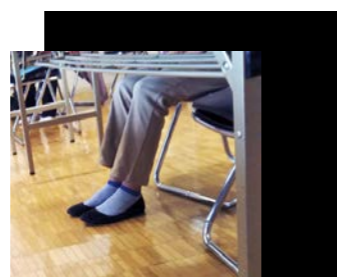
やっと、七月から教室が再開出来るようになり良かったと嬉しい思いで一杯です。

でも、まだ気は抜けません。感染者も増えていて心配です。

早くワクチンが出来て、マスク無しで出かけられる生活が送れるようになる事を願うばかりです。(加藤)



マスクつければ琴の響きさわやかに～



上履きも持参との規則。かなり徹底しています



レッスンの合間にも換気して。。

早口言葉に挑戦してみよう！！

自粛生活が求められている日々。一日誰とも話さない日もある。

著作者 手術中

新設 診察室 視察

打者 走者 勝者 走者一掃

貨客船の旅客と 旅客機の旅客

人の非は、非とぞ憎みて 非とすれど、

我が非は 非とぞ知れども 非とはせず

- 1 ちよさくしゃ しゅじゅつちゆう 声帯は鍛えろと維持され、進化する。さあ早口言葉に挑戦だ！
- 2 しんせつ しんさつしつ しさつ

- 3 だしゃ そうしゃ しょうしゃ そうしゃ いっそう

- 4 かきやくせんの りよきやくと りよかつきの りよきやく

- 5 ひとのひは、ひとぞにくみて ひとすれど、わがひは、ひとぞ しれども ひとはず

自粛生活 その3

自粛生活で思う事



(綾瀬ベル 山田伊津美)



五月・ベランダに咲いた サボテンの花

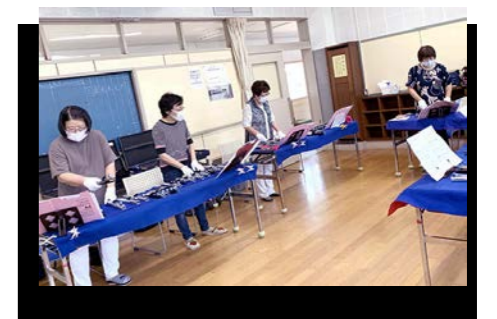
2月下旬より、日本中がコロナウイルスの感染予防の為、自粛に入り『ステイホーム』。綾瀬市も公民館関係のベル練習施設が閉鎖され、すべての予定も中止になりました。急に生活リズムが崩れて、最初はベル仲間誰にも会えない喪失感に苛まれました。

でも何日か経った時、ふと我が家の庭を見ると色々な花が咲いているのに気づき『ウチにこの花あったっけ?』『この花、ここに移したんだ?』など毎年、咲いてるのは見てるはずなのに、今年ほど庭に感心したり、驚いたりした事はなかったと思いました。写真を撮り、ベル仲間にLINEで送ったところ、ウチにもこんな花が…とか今日はなになにをしたのよ…とか色々な情報の交換をし、お互いに安否確認みたいな毎日を送りました。今度は『リモート』で話そうとリハーサルのような事も…

6月に入り、コロナウイルスも落ち着いて練習再開となりましたが、ベルはやりたいが不安もあり、今はどこの場所でも当たり前になっているソーシャルディスタンスを取り始めました。約4ヶ月のブランクです。の割り上手く出来た?のかなあ…誰かが『手が覚えている…』と言いました。やっぱり仲間と一緒に練習は楽しい。嬉しいのが実感です。早く元のように訪問に伺える日を待ちましょう



綾瀬ベルはマスクと手袋着用です



入口の扉も開放しての練習です 受付の方お一人の音色に癒されて。。